

JACME Newsletter No. 6



一般社団法人 日本医学教育評価機構
Japan Accreditation Council for Medical Education

令和2年8月 発行

■ COVID-19パンデミック下での医学教育分野別評価

奈良 信雄 [日本医学教育評価機構 常勤理事]



2019年12月に中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は世界各地に感染が拡大し、2020年3月11日にWHOがパンデミックと宣言する事態になった。日本においても、大型クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号でのアウトブレイクを始め、2020年2月以降感染者数が急激に増加した。このため4月7日には緊急事態宣言が発出され、日本全体で感染防止を目的として自粛が求められる事態に発展した。

COVID-19の影響は教育界にも多大な影響を及ぼし、休校処置等がとられた。医学部においては、他学部と同様に教育・研究活動が制限されることだけに留まらず、附属病院を有していることからCOVID-19感染症に対する医療に教職員の多大な負担が求められることとなった。このような状況下で、日本医学教育評価機構 (JACME) による通常の医学教育分野別評価を実施することは事実上困難となった。そこで、COVID-19パンデミック下での医学教育分野別評価のあり方について、慎重に対応することとなった。

本稿では、2020年7月17日現在における、JACMEの対応状況を紹介したい。

1. 評価日程の調整

JACMEによる医学教育分野別評価は、2010年にアメリカ外国医学部卒業生教育委員会 (Educational Commission for Foreign Medical Graduates : ECFMG) が「2023年以降はECFMG申請資格として国際基準で評価され認定を受けた医学部の出身者に限る。」と通告してきたことに端を発する。

この通告を受けて、本邦では2012～2016年度文部科学省大学改革推進事業の一環として医学教育分野別評価の制度設計を行い、2015年12月1日付けで医学教育分野別評価を担う実施組織として一般社団法人日本医学教育評価機構 (JACME) が発足した。JACMEは世界医学教育連盟

(World Federation for Medical Education: WFME) の査察を受けた後、2017年3月18日に国際的に通用する医学教育評価機関として認知された。

以来、JACMEは国際基準に基づいて医学部教育の評価を行ってきた。2020年7月2日現在で44校を認定し、その後も評価・認定事業を着実に進めている。しかし、COVID-19という想定外の影響を受け、予定していた評価計画を抜本的に見直さなければならなくなった。

まずは2020年4月7日の政府による緊急事態宣言の発出を受け、2020年4～7月までに評価の受審が予定されていた4校について、受審校・評価員・JACME関係者の安全を確保する観点から評価の延期を決定し、当該医学部に通知した。延期後の評価日程については、COVID-19の状況を見ながら再調整することとした。さらに、2巡目の評価受審校に対しては、認定期間が中断することのないように、認定期間の延長を考慮することとした。

その後もCOVID-19の感染拡大が続き、2020年度以降の評価計画 (受審年度、受審日程等) については柔軟に対応することとし、評価受審日程についての意向調査を実施した。意向調査の結果に基づいて、COVID-19の状況を見据えながら、2020年度以降の評価日程を再調整している。

2. 評価のあり方検討

COVID-19の影響を受けて、各医学部では講義、実習等の教育内容が変更されることになった。特に医学教育にとって最も重要とされる臨床実習が、実習期間並びに内容を含め、附属病院、教育関連病院、地域の医療施設等において制約を受けている。このような条件で実施されている教育内容を平常通りの評価として行うことには、受審校が不安に感じることは当然であると考えられる。

少なくともCOVID-19によって変更せざるを得なくなっ

目次

- 「COVID-19 パンデミック下での医学教育分野別評価」…… P.1
- 「ECFMG の COVID-19 対応」…… P.3

JACME からお知らせ …………… P.4

た教育内容が不当に判定されないよう、JACME評価委員会では十分に配慮することとしている。医学教育分野別評価の基本方針は、各医学部が定めている使命、学修成果を学生が確実に到達できるように医学教育が実践されているか否かの観点で医学部を評価することにある。この中で、各医学部で特色ある優れた取組は発展させ、国際基準から照合して改善が求められる事項には改善の助言・示唆を提示している。こうした評価の基本方針には変更がないが、実地調査を含めた評価のあり方について、COVID-19の状況を踏まえ、関係者の安全性を確保した上での評価法を検討している。

因みに、アメリカの医学教育評価機関である医学教育連絡調整委員会（Liaison Committee on Medical Education：LCME）においても、COVID-19の影響で臨床実習期間が短縮された場合、それだけの理由では不利な判定とはしないことになっている。

3. ECFMG、WFME との協議

上述したように、COVID-19が終息しない限り、評価計画を大幅に変更することは不可避といえる。評価計画を変更する際に障壁になるのが、ECFMGによる資格申請要件の適用が「2023年」開始という期限設定である。現在の状況を鑑みると、2023年までに全82医学部を評価し、認定するには相当な困難を伴う。2023年という設定期限が延期されれば、全医学部を評価する上である程度の余裕が生じると考えられる。

そこで、ECFMGのWilliam W. Pinsky会長、WFMEのDavid Gordon会長に書簡を送り、JACMEの評価の進捗状況を説明した上で、2023年の延期を要請した。両会長とは個人的な面識もあり、彼らはJACMEの要請は妥当であると判断した上で、下記の2点の変更を私信で回答してきた。それとともに、ECFMGのWebsiteでも対応が発信されている（<https://www.ecfm.org/>）。

なお、WFMEはCOVID-19パンデミック下における医学教育評価のあり方についてのWebinarを2020年6月24日に開催した。その収録は<https://wfme.org/news/wfme-seminar-recording/>から視聴できるので、参考にいただければと思う。

①資格申請要件開始を2024年に延期

ECFMGは認証要件の実施開始を2023年としていたものを2024年に延期することに決定した。さらに、その後の状

況の変化に対応してスケジュールを調整し、2024年に近づいた時点で開始時期を公告する予定としている（www.ecfm.org/accreditation）。この件についてはJACMEのWebsite（<https://www.jacme.or.jp/>）でも公開しているので、ご覧いただきたい。

②USMLE step2 CSの変更

アメリカの医師国家試験であるUnited States Medical Licensing Examination（USMLE）には、医学部教育で修得しておくべき知識を測定するstep 1、臨床研修で医療を実践するのに要求される知識を測定するstep 2CK、技能を評価するstep 2 CS、研修後の医療技能を総括的に評価するstep 3から構成される。

USMLE step 2 CSは技能を評価するため、アメリカ国内に設置されている試験会場で主に標準模擬患者（SPs）を対象に実技試験として実施される。しかし、COVID-19の影響を受けてSPsや受験者などの安全確保が難しいことなどの理由から、向後最短でも12か月、場合によっては18か月は実施できなくなった。このため、外国の医学部を卒業した者（International Medical Graduates：IMG）を対象にした代替の特例措置が設けられることになった。

特例措置のうち、日本人申請者に関する主な要件を抜粋すると、2021年の研修マッチングへの参加を希望する者は、

- 日本の医師免許を保有している
- JACMEの認定を受けた医学部の2018年1月1日以降卒業予定者で、臨床技能の修得が保証されていることが条件にされている。

これらに該当しない者に対しても、他国の医師免許を保有している、イギリスGMCのPLAB2などUSMLE step 2 CSと同等な実技試験に合格している、などの代替条件も提示されている。特例措置についての詳細は<https://www.ecfm.org/certification-requirements-2021-match/>に公開されているので、参照していただきたい。

COVID-19という想定外の事象を受け、JACMEは受審校関係者、評価員、JACME職員の安全を確保しながら、制約を受けた条件下でも公正かつ適正な評価を実施することを計画している。このため、感染状況によっては、随時計画を変更せざるを得ないことも少なくない。各医学部の教職員の皆様にも多々ご迷惑をおかけすることもあると思われるが、ご理解とご協力を切にお願いしたい。

■ ECFMG の COVID-19 対応

伴 信太郎 [日本医学教育評価機構 副理事長]



2020年5月26日にUSMLE® (United States Medical Licensing Examination) が向こう12-18カ月間Step 2 Clinical Skills (CS) を中断すると発表しました。USMLE Step 2 CSというのは臨床実技試験です。ECFMGはIMG (International Medical Graduate海外医学校卒業生) にCertificationを発行するのにStep 2 CSの合格を要件の一つとしており、この認定書が無いとIMGはNational Resident Matching Program (“the Match”) に応募できず、米国の卒後臨床研修に入れません。ECFMGは、海外から医師の参入がひき続きスムーズに行くようにStep 2 CSの代替案を検討していました。

その後6月17日に代替方法が示されました (<https://www.ecfm.org/certification-requirements-2021-match/>)。この情報はあくまで暫定的なもので、できるだけ早急に確定情報を提供するとしています。

2021年度の米国のレジデンシー応募開始は2020年9月1日です。今回の通知は、これまでにUSMLE step 1とstep 2 CK (Clinical Knowledge) は合格しているけれど、step 2 CSはまだ合格していないIMGを対象にした通知で、2021年度限りのものです。この通知でUSMLE Step 2 CSの代替方法は5つ示されていますが、本稿では日本の医学部生・卒業生に関係すると思われる2つの方法についてのみ情報共有します(詳細は前述のECFMGのURLを参照)。

まず前提条件が求められています。

【前提条件】

- 英語能力の証明 (English Language Proficiency Assessment)
どのような証明が必要かについては近々公表するとされています。
- 今回の暫定措置でECFMG認証を受けた場合、2021年度のマッチングで研修に入らなければ認証は失効します。

- 今回応募資格のある人は次の条件を全て満たす人です。

- ▶ Step 2 CSに合格していない
- ▶ ECFMGから応募資格停止対象になっていない
- ▶ 2020年8月1日～2021年1月31日の期間、USMLEの受験資格停止となっていない
- ▶ USMLEのいずれかの試験 (Step 1, Step 2 CK, Step 2 CS) に2回以上不合格になっていない
- ▶ 2018年1月1日以降にUSMLEのいずれかの試験を受験または登録したことがある

【USMLE Step 2 CSの代替方法】

①他国の医師免許を有する人

◇制限付きではない医師免許保有者、あるいは2015年1月1日以降にどこかの国で医業登録をしたことのある人

◇医師免許や医業登録に関して何も処罰を受けていない人

②医学校がWFMEによって認証された機関 (日本の場合 JACME) によって認定されている場合

◇応募者の出身校がWFMEによって認証された機関によって認定されている

◇2018年1月1日以降に卒業している

◇医学校が応募者の臨床技能を公式に保証する必要がある

以上が2020年6月17日時点での情報です。日本の応募有資格者は殆ど①だと思いますが、②に該当する現在の医学部6年生はいるかもしれません。

証明書類の翻訳について

ECFMGに日本語の成績証明書や学位記を提出する際に「ECFMGの翻訳要件」に見合っていることが求められます。詳細はWebsite (<https://www.ecfm.org/2020ib/english-translation.html>) をご参照ください。

JACME からお知らせ

1 令和2年度 医学教育分野別評価認定状況

当機構では、認定が確定した大学を公表しています。医学教育分野別評価は、書面調査及び実地調査により実施しています。書面調査は各医学部、医科大学が作成した自己点検評価報告書*及び根拠資料等の精査により実施し、実地調査は、書面調査では十分には確認できなかった事項について調査します。認定結果の詳細については、当機構ホームページの「認定大学情報」https://www.jacme.or.jp/pdf/jacme_web_licensebanner_link.pdfをご覧ください。

*2 巡目の受審校から自己点検評価書の名称となります。

2020年6月1日現在

大 学 名	認 定 期 間
杏林大学	2020年4月1日～2027年3月31日
神戸大学	2020年6月1日～2027年5月31日
愛知医科大学	2020年6月1日～2027年5月31日
川崎医科大学	2020年6月1日～2027年5月31日
名古屋市立大学	2020年6月1日～2027年5月31日
東京女子医科大学	2020年6月1日～2027年5月31日

2 令和元年度決算が承認されました

令和元年度の決算が6月29日に開催された社員総会において承認されました。

〈令和元年度決算の概要〉

(単位：円)

収 入	決 算 額
入会金	500,000
会費収入	84,000,000
賛助会費収入	1,000,000
評価手数料収入	46,585,000
雑収入	1,142
前年度繰越金	68,361,933
計	200,448,075

支 出	決 算 額
総合評価事業費	10,274,507
評価事業費	49,921,961
機構運営費	43,973,367
翌年度繰越金	96,278,240
計	200,448,075

〈令和元年度事業報告の概要〉

機構の目的を達成するため、令和元年度は以下の整備を行いました。

1. 評価基準及びマニュアル等の作成
2. 医学教育分野別評価事業の実施
3. 評価員ワークショップ等の開催
4. 公正・適正な評価システムの確立のための調査・研究
5. 広報活動の推進
6. 財務基盤の強化
7. その他 (〇理事会の開催 〇部会・委員会の開催 〇事務局の整備)

3 令和2年度の会議開催情報

- (1) 社員総会 (Web会議) 令和2年6月29日(月) 【開催済み】
- (2) 理事会
- 令和2年度 第1回 (臨時) 理事会 (メール審議) 令和2年5月21日(木) 【開催済み】
 - 令和2年度 第2回理事会 (Web会議) 令和2年6月4日(木) 【開催済み】
 - 令和2年度 第3回 (臨時) 理事会 (メール審議) 令和2年7月17日(金) 【開催済み】
 - 令和2年度 第4回 (臨時) 理事会 (Web会議) 令和2年8月20日(木)
 - 令和2年度 第5回理事会 令和2年11月26日(木)
 - 令和2年度 第6回 (臨時) 理事会 令和3年3月25日(木)
- (3) 部会、委員会は随時開催予定

※開催形態については未定です。

JACMEの詳しい情報は

今すぐホームページへアクセス！

当機構の概要や評価事業の内容、医学教育分野別評価基準日本版、受審要項、認定大学の情報などを掲載しています。



<https://www.jacme.or.jp/>

4 令和2年度 セミナー・ワークショップの開催予定

【1】令和2年度医学教育分野別評価2巡目の評価に関する評価員ワークショップ

2巡目の評価に向けて、評価員を対象としたワークショップを8月28日(金)にWeb会議形式で開催します。常勤理事による「日本医学教育評価機構(JACME)による2巡目の評価概要」の講演資料を基に、研修委員会委員を交えてグループ演習とグループ発表、総評を行います。

現在ご協力いただいている賛助会員

公益財団法人医療研修推進財団
株式会社医学書院
医歯薬出版株式会社
中外製薬株式会社
株式会社ツムラ
株式会社日本医事新報社
株式会社羊土社

(50音順)

編集後記

平形 道人 [慶應義塾大学医学部 教授]

今号のテーマは「COVID-19パンデミック下における医学教育評価」です。まず、わが国の医学教育評価を先導する奈良信雄先生に、「COVID-19下における医学教育分野別評価のあり方、現況と対応 (日程調整、計画、ECFMGやWFMEとの協議)」について最新情報を含めご執筆頂きました。続いて、国際情報に精通されている伴 信太郎先生に、読者・医学生に関心の高い「ECFMGが示したCOVID-19に対する具体的対応」について、分かりやすく解説頂きました。この未曾有の状況でも、教育の質保証のために、安全な環境でJACMEによる公正かつ適正な評価が実施されるよう、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【編集発行】



一般社団法人
日本医学教育評価機構

広報委員会

委員長:鈴木 利哉 委員:平形 道人、高木 康、神代 龍吉、山口 久美子
〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-11 お茶の水プラザビル6F
TEL:03-5844-6736 FAX:03-5844-6737
<https://www.jacme.or.jp/> E-mail:info@jacme.org

【JACME Office】

- JR中央線「御茶ノ水」駅 徒歩5分
- 東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅 徒歩5分
- 東京メトロ千代田線「新御茶の水」駅 徒歩6分

